

2021年1月（第4回）

FD・SD研修 実施報告

群馬医療福祉大学 FD・SD 委員会

2020年度第4回研修は「非常勤講師説明会（FD・SD研修）」の名称の下、専任教職員に非常勤講師を加えて実施した。COVID-19拡大対策のため、第3回研修（2021年1月6日実施）に引き続き3キャンパスに分かれてのZoomによる研修となった。また、非常勤講師には全員Zoomでの参加を依頼した。

第4回研修会

■テーマ

研修Ⅰ：「Zoomのテクニック～基礎から実践まで～」
藤本 竜 先生（「情報処理」関係授業担当）

研修Ⅱ：「Zoomを使った授業実践事例」
田口 敦彦 先生（「レクリエーション」関係授業担当）

■日時・会場

日時：2021年2月27日（土） 9：30～11：30

会場：【配信場所】群馬医療福祉大学前橋キャンパス2号館中講義室（社会福祉学部・短期大学部 教職員）

群馬医療福祉大学藤岡キャンパス（看護学部 教職員）Zoomで参加

群馬医療福祉大学本町キャンパス（リハビリテーション学部 教職員）Zoomで参加

非常勤講師 Zoomで参加

■目的 第3回FD・SD研修会において遠隔授業に関する学生アンケートの検証が行われ、教員にはZoomのテクニックが求められていることが明らかになった（2021年1月6日 テーマ2として実施）。そのため、Zoomの知識を基礎から習得するとともに、授業の目的を達成するための工夫・学生への対応について、実践例から学ぶ。

■内容

研修Ⅰ Zoomのテクニック～基礎から実践まで～

Zoomの様々な機能と授業時における使い方についての詳細な説明が行われた。さらに、どのような場面で活用することが有効であるかについても言及された。目次は以下のとおりである。

- ・ZoomアプリとWeb画像
- ・画面共有
- ・注釈
- ・ブレイクアウトルーム
- ・授業時のレコーディング

※なお、研修Ⅰについては、研修会に際して用いられたパワーポイントを全教職員・全非常勤講師に送信した。

研修Ⅱ 「Zoomを使った授業実践事例」

実際の授業（実践授業である「スポーツ及びレクリエーション実技」）を例に挙げながら、研修Ⅰで為された技術を用いた授業の進め方について、授業時の動画を用いた具体的な説明が行われた。項目は次の通りである。

スタンス：

- ①学生目線で授業を行う（はっきりとした言葉・見やすい資料・ノートを取る時間の確保）。
- ②学生主体の学びを提供する。
- ③学生のためのアウトプット場面を設定する。
- ④充実感・達成感を獲得させる。

具体的な工夫：

- ・待機中にシラバスを画面共有する。
- ・声ははっきり、表情は柔らかく。
- ・ブレイクタイム（一休み）を作る（この際、教科書・ノートは閉じさせる）。
- ・1コマのスケジュールを示すとともに、講義の現在地点を常に明らかにする。
- ・提示資料は大きく示す。
- ・動画を使う。
- ・ブレイクアウトルームを活用する。
- ・授業の終わりに、質問を受けつけるので残ることができる旨を知らせる（授業中に質問ができない学生への対応）。
- ・授業のアナウンス・資料送信は、5日～1週間前までに行う（予習のための配慮）。
- ・“カメラ オフ”を防ぐための効果的な働きかけとして、「授業は学生と教員が共につくりあげていくもの」であることを強調する。

授業を行う者（教員）としての心構え（遠隔・対面にかかわらず）

- ・「何を学び身に着けることができたか」「受講することにより何ができるようになったか」を考えるべきである。
- ・「先生は私たちのことを気にかけてくれている。」と感じさせることが大切である（「あなたたちは○○ができるようになったね。」と説く）。
- ・興味・関心を抱かせるために、関連する専門分野との関係で講ずる。

最後に、Zoomの授業を通じて学生たちもアイデアを持ちチャレンジしようとしている。つまりこれは「新しい時代の到来」であることを宣し、研修が締めくくられた。

■成果

研修会終了後、リフレクションシートを配信し参加者に回答を求めた。その結果を如何に示す。

1. 参加者概要 n=133 （複数回答あり）

	社会福祉学部	医療技術学部	短大	看護学部	リハビリ学部	非常勤講師	
教員	29	3	5	32	15	24	108

職員	17	0	0	5	6		28
合計	46	3	5	37	21	24	136

2. 研修会の満足度・理解度（人）

Q1 ZOOMの使い方は理解できましたか？

1.よく理解できた	2.やや理解できた	3.あまり理解できなかった
91	40	2

Q2 画面共有機能を使いたいと思いますか？

1.すでに使っている	2.今後は使いたい	3.使いたいとは思わない
104	26	1

Q3 注釈機能を使いたいと思いますか？

1.すでに使っている	2.今後は使いたい	3.使いたいとは思わない
26	95	8

Q4 投票機能を使いたいと思いますか？

1.すでに使っている	2.今後は使いたい	3.使いたいとは思わない
14	107	9

Q5 ブレイクアウトルームを使いたいと思いますか？

1.すでに使っている	2.今後は使いたい	3.使いたいとは思わない
74	43	14

Q6 授業をレコーディングして配信したいと思いますか？

1.すでに配信している	2.今後は配信したい	3.配信したいとは思わない
36	60	33

Q7 授業における学生への対応のしかたがわかりましたか？

1.よくわかった	2.どちらでもない	3.わからなかった
108	20	1

Q8 自分なりの授業方法を考えてみようと思いましたが？

1.考えてみようと思う	2.どちらでもない	3.考える気はない
117	7	5

Q9 来年度の授業に対し、展望が開けた

1.展望が開けた	2.どちらでもない	3.展望はない
92	32	6

3. 研修の感想・意見

Zoom について	Zoom の機能が勉強になった。Zoom の知らない機能が勉強になった。再確認できた	23
	いろいろな Zoom の機能を実践したい。Zoom の機能を使って授業改善したい	10
	投票機能は知らなかったなので、今後使用したい。投票機能の使い方が分かった。	9
	どのように Zoom で遠隔授業しているのか実際を知れて良かった。	2
You Tube	You Tube への up の方法など、具体的にマニュアルで配布してほしい	1
	You Tube は今後検討していきたい	1
全体	大変勉強になりました。ためになりました。参考になりました。有意義な研修でした	22
	両先生の話が分かりやすかった。丁寧な説明でわかりやすかった。	8
	次年度の授業改善に役立てたい。授業の工夫が具体的ですぐに活用できる。	8
	対面も遠隔も学生本位の授業設計と進め方が重要であることがあらためて理解できた	5
	タイムリーな研修内容でありがたい。時期に合っていた内容だった。	5
	学生の実際の反応を動画で見ながらの説明は良かった。	4
	カメラをオンにする秘訣が知れてよかった。カメラをオンにしていきたい。	3
	自分の授業を振り返る良い機会となりました。	3
	Zoom の機能は既知っている内容だった。ZOOM の新たな発見は少なかった。	3
	パソコンの基礎知識がないので、理解できなかった。	3
	遠隔授業の良いところが分かった。メリット・デメリットがわかった	2
	スライドが分かりやすかった。パワーポイントが見やすかった。	2
	カメラをオンにすると接続が切れてしまう学生がいるため難しい	2
	先生方の苦勞されていることを職員として知れてよかった	1
	Zoom を利用した on-line 授業に関して、抵抗感を払拭することができない	1
	機器類のリテラシーは必要な研修だと思う。	1
	動画や音声を使用したくて、フリーソフトを学校のパソコンに入れようとしたが事務で対応できないと言われた。	1
	希望	遠隔授業は原則顔出しでよい。カメラをオンにすることを学校から指示してほしい。
資料をいただきたい。事前に資料の配布があるとよかった。		4
もっと早くに実施していただきたいかった。夏の研修に取り入れていただきたいかった		3
それぞれ ZOOM での受講がよかった。研究室で研修を受けさせてほしかった。		3
SD 研修も開いていただきたい。教員と職員を分けてほしい		2
実習・実技系、特定機器、設備等を用いる講義の工夫が聞きたかった		2
Zoom の習熟度によってグループを分けても良かったのでは？		2
この時期の土曜日に半日拘束されるのは辛い		1
PC ではできるが iPad では出来ないものもあるので、そこにも触れてほしかった。		1
非常勤の先生方の講義を聴講してみたいと思いました。		1
遠隔授業であれば教員同士の授業参観が容易だと思う		1
質問	社会福祉学部での授業事例、多人数講義系での授業事例 での対応アイデアとして、具体的な工夫はありますか？	

	プライバシー、金銭的負担の配慮のため、カメラをオンにしていなかったが、そのことは修正されたのか？	
--	--	--

4. 次回研修に向けての改善点、要望

研修内容について	同じテーマを続けてほしい	8
	新たな Zoom の機能を教えてほしい。Zoom の活用法	4
	遠隔授業の工夫について	3
	Zoom での研修参加を続けてほしい	2
	職員向けの研修をしてほしい	2
	途中で休憩を入れてほしい	2
	パソコンの基礎知識研修を要望する。	2
	講義の後にディスカッションを企画してほしい。参加者交流	2
	タイムリーな内容	2
	ハイブリッド授業の工夫を知りたい	1
	Zoom 習熟度による事例集を拝見したい	1
	反転授業についての企画をお願いしたい	1
	書類の作成などについて学ぶ機会があってもよい	1
	それぞれの学部での動画作成や遠隔での演習・実習の情報共有	1
	Google フォームを使ったアンケート、テストの作り方	1
	エクセルについて	1
	先生方の授業方法を知りたい	1
	タブレットや授業用の電子黒板など最先端の教育機器について	1
	学生の満足度を上げながらも高い教育水準の講義をする方法	1
	SA についての詳細、導入例について	1
学校の規則や教育方針、学長や学部長のお考えや先生方の研究成果などを発表する機会を増やして欲しい	1	
立花高等学校（福岡県）の校長先生のお話も聴いてみたい。	1	
運営について	資料を配布してほしい。事前に資料を配布してほしい	3
	各自遠隔で参加できるようにしてほしい。研修室での参加を許可してほしい。	2
	研修会の内容が動画で見られるようにしてほしい	1
	質問と回答が聞こえにくかった。Zoom への配慮をしてほしい	1
	事前に質問を募っておくのもよいと思う	1
	PC や Zoom の習熟度に合わせた研修	1
	プロジェクターを使用する際、手前の照明を消してほしいです。	1
	Q7 以降の選択肢間隔が粗すぎて(偏りがあり)、応えづらい。	1
	ぜひ経営陣の皆さんへも参加していただきたい。	1

■課題

今回の研修では単なる技術の解説ではなく、学生の教育に資するための Zoom のテクニックとその活用が示された。特に研修Ⅱの内容は、一定期間 Zoom での授業を試行錯誤しながら行ってきた結果として得られた成果であり、それを共有する機会を得たことは教員として利する点が多い、と受け止めることができる。ただし、`技術、を使うことばかりに専念し、学ぶ側である学生を閑却することは避けなければならない。

非常勤・専任ともに担当授業には様々な形態があり、到達目標に至らしめるための方法はそれぞれであろう。今回は一つの授業実践事例が示されたのみであったが、今後は、学生の存在を中心とするアクティブ・ラーニングのあり方について、各種のタイプ別授業例を共有する機会を設けていきたい。



長挨拶・訓話



全体の様子（配信場所）



研修 I



研修 II